

世界史

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は 60 分です。
- V 問題は 10 ページで大問 4 問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。
2. マークのしかた

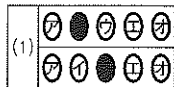
(ア) 正しい例

a 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは



のように、マークしてください。

b 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは

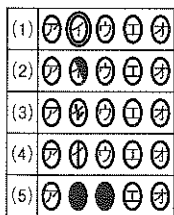


または



のように各1つずつマークしてください。

(イ) 悪い例



(1) ○印でかこむ。

(2) 全部をぬりつぶしていない。

(3) レ印をつける。

(4) |印をつける。

(5) 1欄に2つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。



のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

イスラーム勢力によるインド亜大陸への侵出が本格化したのは、アフガニスタンに10世紀後半に興った(1)朝以降のことである。この王朝は、(2)流域に興ったイラン系イスラーム王朝であるサーマーン朝のトルコ系の軍事集団である(3)が自立したことをもって成立した王朝である。(1)朝は、同じくトルコ系の王朝で、ビザンツ帝国が十字軍の派遣を要請する要因となった(4)朝と戦い、大打撃を受けた。(1)朝の衰退に乗じて興った(5)朝もまたインド亜大陸への侵出を続け、遂には、この王朝の将軍であった人物がデリーにて自立し、インドで最初のイスラーム王朝が誕生した。

以上の動きは陸路からのインド亜大陸への侵出であるが、イスラーム勢力の海路からのインド侵出は(6)世紀初頭には始まっていた。すなわち、この時期に西ゴート王国を滅ぼした(7)朝は、ペルシア湾岸からアラビア海沿岸を通るルートでインド亜大陸に派兵し、(8)の河口地域のイスラーム化が始まった。シンドと呼ばれるこの地方が現在の(9)領であることは偶然ではない。この地域がインドと分離して独立したのは(10)年のことである。

〔語群〕

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| (ア) ホラズム=シャー | (イ) イェニチェリ | (ウ) 10 |
| (エ) 9 | (オ) 8 | (カ) 7 |
| (キ) セルジューク | (ク) ウマイヤ | (ケ) アッパース |
| (コ) ゴール | (サ) ラージプート | (シ) ガズナ |
| (ス) カラ=ハン | (セ) マムルーク | (ソ) ネパール |
| (タ) バングラデシュ | (チ) ブワイフ | (ツ) パキスタン |
| (テ) イクター | (ト) ガンジス川 | (ナ) アム川 |
| (ニ) インダス川 | (ヌ) アムール川 | (ネ) 1940 |
| (ノ) 1929 | (ハ) 1971 | (ヒ) 1947 |
| (フ) ディアドコイ | | |

〔Ⅱ〕 次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

ナポレオンの大陸支配は、啓蒙思想や合理主義に基づく改革や法体系をヨーロッパに広めた。しかしほどなくして、各地域固有の伝統文化や言語・歴史文化を見直して、民族精神や起源を見出そうとしたり、個人の感情や想像力を重視する思想や運動が生まれた。こうした19世紀前半の文化的潮流を(1)と呼んでいる。

フランスにおける(1)を代表する作家としては、『レ=ミゼラブル』を著わした(2)が挙げられる。当初は、1814年に即位した(3)の復古王政を支持していた(2)は、のちに共和主義者となり、1851年のクーデタで独裁権を握った(4)に反対して弾圧の対象となり、以後20年ちかくの亡命生活を送っている。(2)が帰国を決意したのは、1870年、プロイセン=フランス戦争(ドイツ=フランス戦争)でフランスが惨敗を喫し、第二帝政が崩壊してからであった。亡命中の1862年に刊行された『レ=ミゼラブル』は、「あわれな者たち(フランス語「レ=ミゼラブル」の直訳)への(2)の愛情が注がれている長編小説である。

美術としては、(5)の「民衆を導く自由の女神」が、(1)絵画の代表作の一つである。現在ルーヴル美術館に収蔵されているこの作品は、1830年に勃発し国王(6)の亡命をひきおこした(7)を題材としており、自由の女神が三色旗を掲げ、銃を手にして、民衆を鼓舞するさまを描いている。マリアンヌという名でフランス人に親しまれているこの女神が頭にかぶっているのは、フリジア帽と呼ばれる帽子で、2024年パリ・オリンピックのマスコットだったフリージュは、この帽子をモチーフとしてデザインされたものである。

19世紀も半ばをすぎると、(1)にあきたらない芸術的潮流として、社会や人間の抱える問題に向き合おうとする写実主義が登場し、ついで社会や人間を科学的に観察しようとする(8)も広がった。(8)文学を代表するのが、『居酒屋』などの小説で社会の暗部を描き出した作家(9)である。(9)は、ドイツのスパイとして流刑に処せられたユダヤ系陸軍将校(10)の冤罪事件が

起きると、1898年、新聞『オーロール』紙に「私は弾劾する」と題した大統領あての公開質問状を掲載し、(10)の救済に努めたことでも知られている。最終的に(10)は、1906年7月12日に無罪となり、その120周年にあたる2026年から、フランスでは7月12日が(10)の記念日となることが決まった。

〔語群〕

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| (ア) ロマン主義 | (イ) ゴッホ | (ウ) 自然主義 |
| (エ) 三月革命 | (オ) バルザック | (カ) ヴィクトル＝ユゴー |
| (キ) ルイ＝ナポレオン | (ク) ルイ＝フィリップ | (ケ) タレーラン |
| (コ) ルイ14世 | (サ) ヘルツル | (シ) ルイ18世 |
| (ス) ドラクロワ | (セ) バロック | (ソ) ミレー |
| (タ) プーランジェ | (チ) ドレフェス | (ツ) ルイ16世 |
| (テ) シャルル10世 | (ト) シャルル7世 | (ナ) ルイ15世 |
| (ニ) ゾラ | (ヌ) 二月革命 | (ネ) ボードレール |
| (ノ) 七月革命 | (ハ) デイケンズ | (ヒ) スタンダール |
| (フ) 社会主義 | | |

〔Ⅲ〕 次の文の(1)～(8)に入れるのに最も適当な語句を{ }内の(ア)～(エ)から選び、その記号をマークしなさい。また、問1～7に答えなさい。

① 中華人民共和国の首都である北京の市街地の中心部には、ニュースなどで映像がながれる巨大な天安門がある。天安門には五つの通路が穿たれ、真ん中の通路の入口上に、中華人民共和国を建国した(1){(ア) 孫文 (イ) 蒋介石 (ウ) 毛沢東 (エ) 金日成}の肖像が掲げられている。天安門を北に抜けると、そこにはかつて皇帝たちが居住した紫禁城があり、現在は故宮博物院になっていて、宮殿内を見学することができる。

現在の北京市街地の原形は、13世紀後半、元の時代に建設された(2){(ア) 上都 (イ) 上京 (ウ) 東京 (エ) 大都}に始まる^②とい^うていいだろう。むろん、北京にはそれ以前にも城郭都市が存在し、唐はそこに幽州ないし范陽郡を、遼は南京析津府を、金は中都大興府を置いた。^③元は、この旧来の都市を放棄し、^④その東北に新たに(2)^⑤を建設したのである。14世紀後半、元がモンゴル高原に撤退すると、明が(2)^⑥を支配下に置き、当初は北平とよんだ。この北平に燕王として配置されたのが朱元璋の第四子の朱棣^{しうてい}である。朱棣は父の死後、甥の建文帝を倒して帝位についた。この朱棣が(3){(ア) 洪武帝 (イ) 永楽帝 (ウ) 正統帝 (エ) 万曆帝}である。(3)は北平を北京と改め、後に遷都した。明の時代、北京の改造が行われた。

明末、李自成が反乱を起こし北京を攻略し、明は滅亡した。(4){(ア) 1616 (イ) 1636 (ウ) 1644 (エ) 1661}年のことである。これをきっかけに、中国東北部から清の軍が長城を越え、北京に遷都して中国支配にのりだした。

清の時代、北京郊外には離宮が建造されていく。北京西北には円明園がつくられ、その設計にはイタリア北部出身の(5){(ア) アダム＝シャルル (イ) フェルピースト (ウ) プーヴェ (エ) カスティリオーネ}が関わった。円明園の西側には、^{せい}清漪園があった。清漪園は、ジュンガルを滅亡させた(6){(ア) 康熙帝 (イ) 雍正帝 (ウ) 乾隆帝 (エ) 順治帝}が明以来あった好山園を改築し造営したものであったが、円明園とともに1860年に英仏連合軍によって焼かれた。後に、(7){(ア) 同治帝 (イ) 光緒帝 (ウ) 宣統帝 (エ) 崇禎帝}^⑦の生母で当時権限

を握っていた西太后が巨費を投じて再建させた。この時、^{いわえん}頤和園と改名した。後に頤和園は、(8) {ア 1894 (イ) 1900 (ウ) 1904 (エ) 1911}に起こった義和団戦争の際に再び荒廃したが、まもなく復旧され、今日にいたっている。

問1 下線部①について述べた次の文(ア)~(エ)のうち、下線部が誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 1950年に始まった朝鮮戦争で、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を支持した。
- (イ) 1953年からの第1次五か年計画で、農業の集団化を行った。
- (ウ) 劉少奇は、1966年から紅衛兵を動員して権力闘争を始めた。
- (エ) 鄧小平は、改革開放政策を進めた。

問2 下線部②に関連して述べた次の文(ア)~(エ)のうち、誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) チンギス=ハンは、ホラズム=シャー朝を滅ぼした。
- (イ) オゴタイ(オゴデイ)は、カラコルムを建設した。
- (ウ) 郭守敬が貞享暦を作成した。
- (エ) 元は交鈔を広く流通させた。

問3 次の文(ア)~(エ)のうち、下線部③と同時代に起きたものとして誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) ヴェルダン条約とメルセン条約でフランク王国は3分された。
- (イ) 柔然が減んだ。
- (ウ) ロシア南部にキエフ公国が形成された。
- (エ) ウマイヤ朝が成立した。

問4 下線部④について説明した次の文(ア)～(エ)のうち、最も適当なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 三長制を施行した。
- (イ) ジャムチと呼ばれる駅伝制を整えた。
- (ウ) 独自の文字をつくった。
- (エ) 部族制を再編した猛安・謀克の制と州県制による二重統治体制をとった。

問5 次の文(ア)～(エ)のうち、下線部⑤と同時代に起きたものとして誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 王建が高麗を建国し、開城に都を置いた。
- (イ) 高宗が宋を再興し、臨安に都を置いた。
- (ウ) 第三回十字軍が起こされた。
- (エ) サラーフ=アッディーンがアイユブ朝を興した。

問6 下線部⑥の時代に関連して述べた次の文(ア)～(エ)のうち、最も適当なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 明は、室町幕府の足利義満を日本国王に冊封した。
- (イ) 明は、煩雑な諸税を一括して銅銭でおさめる一条鞭法を始めた。
- (ウ) 明の時代、儒教の經典の注釈書である『五経正義』が編集・出版された。
- (エ) 明朝は、建国当初から紙幣の使用を禁止した。

問7 下線部⑦に関連して述べた次の文(ア)～(エ)のうち、最も適当なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) この事件の後、清はイギリスに香港を割譲した。
- (イ) この事件の後、清はイギリスに九竜半島の南部を割譲した。
- (ウ) この事件の後、太平天国の乱が勃発した。
- (エ) この事件の後、上海がはじめて開港された。

〔Ⅳ〕 次の文の(1)～(13)に入れるのに最も適当な語句を{ }内の(ア)ないし下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。また、(A)・(B)の間に答えなさい。

ローマ帝国の末期、キリスト教世界では、ローマ・コンスタンティノーブル・イェルサレム・アレクサンドリア・アンティオキアの諸教会が五本山と呼ばれるようになった。^①

五本山のなかでもイェルサレムは、一神教の成立と深いかかわりをもつ場所であった。古代のオリエント世界では太陽神や動物神などさまざまな神々が信仰の対象となっていたが、そのなかで唯一神を信仰するようになったのがヘブライ人である。ヘブライ人は、ダマスクスを中心に内陸都市を結ぶ中継貿易で活躍した(1){(ア) アッカド}人や、地中海交易に従事したフェニキア人とならんで、東地中海沿岸で活動したセム語系の民族であった。前 1500 年頃にパレスチナに定住したヘブライ人の一部はエジプトに移住した。しかし、ここで圧政に苦しんだため前 13 世紀頃にモーセにひきいられて古王国時代のエジプトからのがれパレスチナにむかった。^②ヘブライ人が建てた王国はダヴィデ王やソロモン王のときにイェルサレムを中心に繁栄した。その後、ヘブライ人の統一王国は北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂、イスラエル王国は(2){(ア) アッシリア}、ユダ王国は新バビロニアによって征服された。かつて(3){(ア) カナーン}人が建てたバビロン第 1 王朝はハンムラビ王のときに強勢を誇ったが、後の新バビロニアも広大な地域を支配した。新バビロニアによる征服をうけて多くのヘブライ人がバビロンにつれ去られて捕囚の身となった。アケメネス朝のダレイオス 1 世は、イラン高原の(4){(ア) リディア}などを征服したのち、^③前 539 年にバビロンを占領、翌年バビロン捕囚を終わらせた。

その後、アケメネス朝を滅ぼしたのが、マケドニアのアレクサンドロス大王である。マケドニアはフィリッポス 2 世のもとで強力な軍隊をつくりあげ、前 338 年の(5){(ア) プラタイア}の戦いで勝利するなどしてギリシアの諸ポリスを支配下におくようになった。フィリッポス 2 世の死後あとをついだ息子のアレクサンドロスは東方遠征に進発し、前 333 年の(6){(ア) イッソス}の戦いで勝

利するなどしてアケメネス朝を滅亡させた。東方遠征以後のヘレニズム時代には、(7) {ア} エピクロス}を祖とする禁欲主義のストア派の哲学などが盛んになった。

プトレマイオス朝などヘレニズム世界の諸勢力の運命に大きな影響をおよぼしたのが西方のローマである。ティベル川のほとりに建設された都市国家ローマは、強力な軍事力によって勢力を拡大したが、征服戦争の過程で市民のあいだの経済的な格差が拡大、ついには、有力者が私兵をひきいて争う「内乱の1世紀」に突入した。この内乱を最終的に終わらせたのが、オクタウィアヌスである。前43年にアントニウスや(8) {ア} クラッスス}と政治同盟(第2回三頭政治)を結んだオクタウィアヌスは、その後プトレマイオス朝のクレオパトラと結んだアントニウスをアクティウムの海戦で破った。オクタウィアヌスは前27年に元老院からアウグストゥスの称号を与えられ、ローマは帝政時代にはいった。

ローマによる支配の時代に生きたのがイエスである。神の愛を説き、神の国の到来を約束するイエスに従い、彼こそが救世主であると信じる人々があらわれた。イエスはローマに対する反逆者として祭司やパリサイ派に訴えられ、十字架にかけられ処刑されるが、弟子たちはイエスの復活を信じ彼が救世主であるという信仰を伝えるようになった。こうして成立したキリスト教はローマ帝国内でしだいに広まった。4世紀はじめに(9) {ア} ディオクレティアヌス}帝の大迫害を受けるなどしながらもキリスト教の拡大は続き、ついにコンスタンティヌス帝が313年のミラノ勅令でキリスト教を公認するにいたった。さらにコンスタンティヌス帝が開催した(10) {ア} エフェソス}公会議においてアタナシウス派が正統とされ、アリウス派が異端とされるなど、キリスト教の教義面における正統と異端の区別もすすみ、(11) {ア} ハドリアヌス}帝の時代の392年にはアタナシウス派キリスト教が国教とされるにいたった。

ローマ帝国の宗教面に大きな変革をもたらしたコンスタンティヌス帝の時代には、帝国の政治体制にも大きな変化が生じた。その一つが東方における新都の建設であり、ビザンティウムに新たな首都が築かれコンスタンティノーブルと改称された。4世紀末にローマ帝国が東西に分裂するとコンスタンティノーブルは、ビザンツ帝国(東ローマ帝国)の首都として繁栄した。5世紀後半に西ローマ帝国

が滅亡すると、ローマ教会はコンスタンティノープル教会とは別の道を歩むようになっていく。ローマ教会は、6世紀末に教皇となった(12) {ア} グレゴリウス1世}以来、ゲルマン人への布教を熱心におしすすめた。

7世紀にはいと、キリスト教世界はイスラーム教徒の勢力拡大の波にさらされることとなった。アラブの諸部族に唯一神アッラーへの絶対的帰依をといたムハンマドの死後、カリフに選出された(13) {ア} ムアーウィヤ}を初代とする正統カリフの時代となった。この時代以降、イスラーム勢力はさらに征服地を拡大して広大な地域を支配するようになり、ローマとコンスタンティノープル以外の3つの教会はイスラーム勢力の支配下におかれるようになる。そうしたなか、ローマとコンスタンティノープルの両教会は聖像問題をめぐって対立を深めることとなった。726年にビザンツ帝国のユスティニアヌス大帝が聖像禁止令を發布したの^④に対して、ゲルマン人への布教のために聖像を必要としたローマ教会は反発し、東西の教会の亀裂が深まった。その後、キリスト教世界は、互いに正統を主張するローマ=カトリック教会とギリシア正教会とに分裂した。

〔語群〕

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| (イ) ゼノン | (ウ) ユリアヌス | (エ) ザマ |
| (オ) マリウス | (カ) タレス | (キ) アブー=バクル |
| (ク) アムル | (ケ) カラカラ | (コ) カルデア |
| (サ) カッシート | (シ) ネロ | (ス) カイロネイア |
| (セ) ニケーア | (ソ) アリー | (タ) ニハーヴァンド |
| (チ) トリエント | (ツ) クシュ | (テ) テオドシウス |
| (ト) アラム | (ナ) レピドゥス | (ニ) レオ3世 |
| (ヌ) ヒッターイト | (ネ) メディア | (ノ) テルモピレー |
| (ハ) ミタンニ | (ヒ) グレゴリウス7世 | |

(A) 下線部①・②について、①のみ正しければ(ア)を、②のみ正しければ(イ)を、両方正しければ(ウ)を、両方誤りであれば(エ)をマークしなさい。

(B) 下線部③・④について、③のみ正しければ(ア)を、④のみ正しければ(イ)を、両方正しければ(ウ)を、両方誤りであれば(エ)をマークしなさい。

(以上)

訂 正

世界史

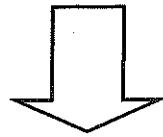
記 号 (D)

<訂 正>

「世界史」

5 ページ 上から 2 行目

(誤) … (エ) 1911} に起こった…



(正) … (エ) 1911} 年に起こった…

上枠の内容を一字一句正しく板書してください。
板書した訂正内容に誤りがないかを必ず複数の監督者で
照合してください。

以 上